

1. 教育理念・教育目標

〈教育理念〉外国語教育とマナー教育をベースに、航空・観光・国際ビジネス業界などに必要な専門教育を施すとともに、様々な接客サービスに関する知識、技能と高いプロ意識を持った人材の育成を持って社会に貢献する。

〈教育目標〉「学歴」よりも「何ができるか」が求められる時代において、「わかる」だけでなく「できる」人材を育成するために、下記の3点を教育目標とする。

1. 専門職種に直結した知識・技術の習得と資格取得を目指す
2. グローバル化された社会に対応すべく、聞いて理解でき、話せる実践語学力の習得を目指す
3. すべての仕事に通じるホスピタリティマインド（おもてなしの心）の育成を目指す

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教育内容の改革を行い、それに伴う教員の自己研鑽を奨励する。教員、事務職員、広報職員の情報共有や「報・連・相」の徹底を行い学校運営の円滑化を図る。また、学生満足度の高い就職実現や安定した学校経営のための募集活動を推進する。

- ・全科共通科目である英語教育のシステム改革（TOEIC への早期移行）とマナー教育の高いレベルでの平均化を図る。
- ・文科省の「職業実践専門課程」の申請を目指し、当該各企業との連携を図る。
- ・学生及び学校にとって満足度の高い就職を実現する。
- ・積極的な研修参加など教員の自己研鑽を推進する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価方法： 4（適切）→ 3（ほぼ適切）→ 2（やや不適切）→ 1（不適切）

（1）教育理念・目標

評価欄

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4
1-2	学校における職業教育の特色が明確に示されているか	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
自己 総合評価		4
成果と課題		
<p>本校の教育理念並びに教育目標や教育の特色については、入学時に配布する「学生便覧」に記載し入学後のオリエンテーションにて全員に説明し周知徹底している。本校教育の基盤となる英語・マナー教育は、将来の社会ニーズを踏まえたものとして企業や高等学校にも認知されつつあり、更なる改善を施し、有為な人材を産業界に送り出すことに努める。業界ニーズとの整合性については、「職業実践専門課程」の理念に即し、各企業からの教育アドバイスや提案をカリキュラムに反映することで、現実に即した人材育成の方向性を常に目指す体制づくりと活動を行う。</p>		
今後の改善方策		
<p>今年度、文部科学省「職業実践専門課程」未申請の国際コミュニケーション科の認定申請を進め認可を得ることで、全学科とも企業連携教育をより推進し、真の即戦力教育に邁進する。また、「学ぶ人と教える人」の成果を常に意識し、教員の自己研鑽や教育内容の更なる改革を進め、良い教育を施し各業界に有為な人材を送ることで入学者の確保を安定させるサイクルを整えていきたい。</p>		
学校関係者 評価コメント		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念が明確にされている。 ・教育理念に基づき適切に行われている。 ・理念を掲げると共に、学生1人1人にいかに意識付けするかが大切であると考え。 ・学生のマナー挨拶がしっかりと出来ている。 ・業界ニーズとの整合性については積極的に活動されている。 		
学校関係者評価平均		4

(2) 教育活動

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	4
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4

自己 総合評価

4

成果と課題

各科目担当講師より旧年度中に新年度のシラバスが提出され、各科目でチェック後各授業の初回にシラバスが学生に配布される。その際、その科目の目標と授業方法、授業内容および成績付けの基準が示され、学生がいかにその授業に取り組めばよいかを理解できる。また、各科目のカリキュラムは、教育課程編成委員会において各科目の関連する業界団体と企業に説明・相談し、ご意見を頂きながら改定・推進を図っている。各学年の初めに、授業科目の体系と資格取得について年間スケジュールを配布しながらガイダンスを行っている。学生の授業評価は前期・後期それぞれ1回ずつ行っており、その評価基準は教務規定で明確になっている。また、変化する社会ニーズに応えるべく教員研修も積極的に行っており、企業への教員研修もコース毎に実施している。

今後の改善方策

学生に配布したシラバス内容の実施状況が把握できるように工夫し、授業の質の向上に取り組んでいきたい。また、実技授業についてはiPad等のICT機器を利用した授業実施を行い、学生により具体的なアドバイスができるように改革していく。また、職業実践専門課程を機に、関連企業との連携を密にしてより実践的なカリキュラム作りを目指していく。

学校関係者 評価コメント

- ・定期的にカリキュラムの見直しを実施されており改善がなされている。
- ・学生への教育だけでなく、教員への教育がある点は良いと思う。
- ・職業教育や教員の指導力育成は特に取り組みをしており、外部にも分かるように実施されている。
- ・学科としてのシラバス、及びコースのシラバスの内容は充実している。各科目の点と点が効果的な線になるよう更に充実して頂きたい。また、評価の方法、項目について整理する必要があると感じた。

学校関係者評価平均

4

(3) 教育成果

3-1	就職率の向上が図られているか	4
3-2	資格取得率の向上が図られているか	4
3-3	退学率の低減が図られているか	3
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4

自己 総合評価

4

成果と課題

就職率は、開校以来ほぼ100%を継続しており、平成27年度も同様であった。また、特に昨年度末より企業からの求人や問い合わせが増加しており、就職先の幅も年々広がりがつつある。資格取得については、各分野とも全国平均を上回る取得率を維持しており、取得する目標資格も就職先の動向や業界情報を踏まえて見直しをしている。また、退学率は一昨年度の11.8%から8.

9%に減少し、昨年度実施した対策が一助となった可能性を感じた。社会的な活躍評価については、卒業生は就職先企業から在校生は校内企業講演会やインターンシップ等でお世話になっている企業より把握している。

今後の改善方策

学生数増加にともない就職担当教員を増加し、就職先の開拓と就職活動のルール作りを推進していく。また、資格取得に関しては習熟度別クラス編成や使用教材の開発を推進しながら取得率・成績の向上を目指していく。退学率の低減に関しては、さらなる減少を目指し、組織的な面談や出欠席のルール作り、講師間の情報共有を図ることにより実施していく。

学校関係者 評価コメント

- ・精神的ケアに対応しており安心できる。
- ・学生に対して入学前から面談を行う等退学率の低減に対する努力をしていると思う。
- ・退学理由の情報収集は継続してほしい。
- ・退学率の低減において大きな改善は見られないが、対策は講じており評価できる。
- ・卒業後の評価は今後とも御校の強みとして把握を期待する。
- ・就職後の転職は企業側にも問題あり。なるべく1つの企業で長く働き続けることのメリットをしっかりと伝えていきたい。
- ・自分の望む仕事が選べ、働いても向上心があり、素晴らしいと思う。
- ・引き続き高い就職率をキープすべく努めてほしい。

学校関係者評価平均 **4**

(4) 学生支援

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
4-5	保護者と適切に連携しているか	4
4-6	卒業生への支援体制はあるか	4
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
自己 総合評価		4

成果と課題

担任制を全クラスに対して布き、ホームルームも授業開始前・授業終了後の2回行い、きめ細かな指導・サポート体制となっている。保護者との連携は、担任を軸として学生の動向を早期に捉え家庭との連携に対応している。就職支援は、担任が相談の中心となり就職専任教員の元、入学早々から授業として実施し、就職学年での内定後も一般教養講座を開設し卒業までのサポートを行っている。また、学生の心理面では専門のカウンセラーによるカウンセリングを受ける体制が整っている。なお、経済的な支援に関しては、奨学金制度を複数用意しており授業料の分割納入制度もある。学生の健康管理については、年に一度健康診断を学内で実施し、日頃の様子は担任が把握し情報共有している。卒業生に対しては再就職相談に対応し毎年成果を上げている。また、高校等の連携教育は、県内高校等へ出向き、出張授業や連携授業を実施しており、高校生の職業観の育成に協力している。

今後の改善方策

学生の社会参加において、各種団体との連携を強化するとともに、現在実施しているボランティア活動への参画もより充実させることで、学生の社会性の育成にも積極的に取り組んでいきたい。

学校関係者 評価コメント

- ・朝礼及びHRは良いと思う。
- ・日誌を利用し学生と教員の情報を把握しており、密なコミュニケーションが取れていると思う。
- ・学生の様子を先生方全員で見守り安心している。
- ・卒業後の支援があると知り安心した。
- ・OG、再就職支援の更なる充実を期待する。逆に、こういう人材、OGがいるのだが、いかがだろうか、と紹介頂けると有難い。

学校関係者評価平均 **4**

(5) 教育環境

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	4
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか。	4
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている	4
5-5	防災に対する体制は整備されているか	4
自己 総合評価		4
<p>成果と課題</p> <p>講義室・実習室の管理者を組織図上で明確にし、これらを放課後等学生に開放している。教育用機器も有効利用できるものは増加し、新しい教育用機器の積極的な導入を行っている。防災に関しては、訓練を9月の始業式後に実施し、休日・夜間警備はセコムのシステムを導入しており、開校日は職員が放課後に当番制で学内の見回りを実施している。</p>		
<p>今後の改善方策</p> <p>学生数の増加と教育力向上に向けて、教室スペースの確保や教育用機器の増加および新教育用機器、および健康的に学習できる環境整備を推進していく。</p>		
<p>学校関係者 評価コメント</p> <p>・教育環境が適切に整っている。</p>		
学校関係者評価平均		4

(6) 学生の募集と受け入れ

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4
6-2	募集要項の内容は適切か	4
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	4
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	3
自己 総合評価		4
<p>成果と課題</p> <p>入学案内・募集要項は、例年5月頃には当該年度版が完成し、資料請求者や県内高等学校に配布している。また、同時期にHPも情報をリニューアルしたうえで公開している。本校の入学案内・募集要項は、他校と比べても情報量が多く、カリキュラムの詳細、教育成果やコース別・期別の必要経費なども掲載されている。就職状況についても開校以来の就職先企業や内定状況を入学案内に詳細に記載している。また、募集活動は、月1回のペースで説明会や体験入学を行い、学校の教育方針や授業内容、施設設備の見学など志願者が必要とされる情報を詳細に公開している。学納金については、開校以来改定していなかったが、学生数の増加に伴う教育環境維持のため平成29年度生より改定予定である。</p>		
<p>今後の改善方策</p> <p>平成26年度から平成28年度入学生まで総定員を充足した安定した入学生数を受け入れることができている。今後は、各コース共バランスの良い入学生数の確保を目指すとともに、入学生の質的向上を目指す募集活動にも重点を置いていきたい。</p>		
<p>学校関係者 評価コメント</p> <p>・募集要項が良くできていると思う。</p>		
学校関係者評価平均		4

(7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	4
7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	4
7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	4
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
7-7	運営組織や意志決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	4
7-8	人事、給与に関する制度は整備されているか	4
7-9	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
7-10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
7-11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
7-12	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
7-13	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
7-14	財務について会計監査が適正に行われているか	4
7-15	財務情報公開の体制整備はできているか	4
7-16	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
7-17	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
7-18	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
7-19	自己評価結果を公開しているか	4
7-20	ハラスメントに対する防止対応策が整備されているか	4
自己 総合評価		4
<p>成果と課題</p> <p>職員の人事評価システムは法人組織で一元化され、組織目標・個人啓発目標の設定を基に整備されている。監事監査及び会計士監査が定期的実施され、会計処理の適正について高い評価を受けている。また、平成29年度より学費の改定を行うことで、収支の安定が図られる。</p> <p>災害・消防計画が整備され、訓練も9月に行われている。校舎を共有する静岡産業技術専門学校と連携した防災訓練の実施により適切な災害対策が計画され行われている。</p>		
<p>今後の改善方策</p> <p>隣接する静岡産業技術専門学校と連携した防災訓練の内容をさらに充実させ災害時の被害最小化に努めたい。</p>		
<p>学校関係者 評価コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度の整備がしっかりとなされている。 ・電子化、システム化が良くできていると思う。 ・学生の評価に応じ各教員に対する指導をしっかりと行っていると思う。 ・財政改善の件、期待している。 		
学校関係者評価平均		4

(8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4
8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	4

成果と課題

ホスピタリティを重んずる教育理念のもとに、地域のボランティア活動に積極的に参加をしている。また、近隣への貢献としては、学生による清掃活動などを通し身近なボランティア活動として実施している。留学生数は全学生数の3割で日本語学校卒業者を中心に受け入れている。生活面での指導は個別に行っている。特に在留資格更新等の法令厳守と、出席率の向上について指導の成果が出ている。出席率の向上は、成績面での成果をもたらすため、教育成果も併せて向上している。

今後の改善方策

留学生指導を担当する教員に対しては、在留資格手続業務のスキルを必須として研修参加を積極的に行っているが、更に卒業後の進路相談と滞在資格更新について適切なアドバイスを与えるスキル向上を図る。また、留学生の就職内定成果は毎年向上しているが、今後も、ハローワークとの連携によりミスマッチのない地元就職の機会を充実させたい。

学校関係者 評価コメント

- ・留学生に対する指導を細かい点まで気を配っていると思う。
- ・入管と連携し適切な手続きが行われている。
- ・留学生の退学へのケア体制を期待している。